学校番号	102

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「改訂　化学」　（東京書籍）						
副教材等	四訂版　リード Light ノート　化学　（数研出版） 新課程版　セミナー化学基礎＋化学　（第一学習社） 新課程　フォトサイエンス　化学図録　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

過去に学習した化学基礎・化学の内容を理解した上で臨むこと。
実験実習や演習により、互いに教えあいながら理解を深めていく。

2　学習の到達目標

・1 年次・2 年次に学習し得た知識を適切に用いることが出来る。
・広い視野で各単元での共通項を見つけることが出来る。
・文章を読み取り、起こる化学反応のイメージを考えることが出来る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	疑問や考えを積極的に発言しようとしているか。	発問に対して，学習で得た知識を使い，自らの言葉で表現しようとしているか。 実験レポートに結果や自分なりの考察を書くことが出来るか。	座学で学習した内容や 1・2 年次で行った実験方法等を活用するなどして，実験・実習に取り組むことができたか。	基礎的な用語や計算方法等を理解し，適切なものを選ぶことが出来るか。
評価方法	教員からの発問に対する発言内容	自らの考えを自らの言葉で表現できているか。 実験プリントを用意し，感想･考察を記入して提出させる。	適切な方法・手順で実験に取り組めているか。	年間 5 回行われる定期考査や授業中に行う小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	1章　物質の状態と平衡	1節 状態変化 2節 気体の性質 3節 固体の構造 4節 溶液	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:授業中の質疑応答の内容 b:自らの言葉を使って表現された意見であるか c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 1 学期中間考査・期末考査
2	2章　物質の変化と平衡	1節 化学反応と熱・光エネルギー 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡 ※2節は2年次に実施済み	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	a:授業中の質疑応答の内容 b:実験レポートの感想・考察 c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 2 学期中間考査・期末考査
3	3章　無機物質	1節 周期表 2節 非金属元素 3節 金属元素 4節 無機物質と人間生活	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:授業中の質疑応答の内容 b:実験レポートの感想・考察 c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 3 学期 学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。